
少女の独白

rio

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

少女の独白

【コード】

N5399Z

【作者名】

rio

【あらすじ】

ただのひとりよがり。

私をもっと強ければよかった。もっと明るければよかった。もっと人と話すのが好きならよかった。もっと人に好かれたかった。

もし私がそんな人なら、きっと彼も私にあんな態度をとることはなかっただろう。

もし私をもっと強ければ、彼と対等になれただろう。
あんな態度はとられなかっただろう。

結局、私は彼の何になりたいんだろう。

涙が溢れた。

零してはいないから許してくれるだろうか。

泣きたくない。負けたみたいだ。ただ黙って荷物をする。

悔しい。彼はなんとも思っていないし、もう忘れているようなことなのに私だけが未だ引きずってあまつさえ傷ついて。

馬鹿みたいだ。

考えれば考えるほど涙が溢れて、憤ろうとすればすぐに乾く。

けれどまた悲しくなって、本当に馬鹿みたいだ。愚の骨頂、愚劣窮まりない。

前の席の女の子が話かけてくれた。彼女は気付いたかもしれない。けれど班が違えば係も違う彼女に事の顛末は分からないだろう。

適当に流してしまった自分が嫌だ。彼女よりも彼を気にかけてしまっ
う自分が何より恨めしかった。

嫌われたわけじゃない。そもそも好きか嫌いかの域に入っていない。
彼にとって私はただのクラスメイト、それだけだ。

(後書き)

僕自身が結構ストレートに言う方だから。思い悩むは美しきかな。
みたいな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5399z/>

少女の独白

2011年12月18日03時50分発行